

中央・新旭川まちづくり推進協議会 会議録 令和4年度第2回

会議概要	
日時	令和4年12月16日(金曜日) 午後6時30分から午後7時45分まで
場所	新旭川地区センター 1階 大集会室
出席者	<p>委員（14名、正副会長以外は50音順）</p> <p>山田会長，中村副会長，石橋委員，伊藤委員，今井委員，上野委員， 蔭山委員，桜木委員，佐藤委員，三本松委員，鈴木委員，素野委員， 高橋委員，十川委員</p> <p>（欠席者 大久保委員，川瀬委員，久保委員，薦原委員，本多委員，山岡委員）</p> <p>オブザーバー</p> <p>旭川大学経済学部 黒川ゼミ 宮崎氏，浅野氏</p> <p>旭川市地域まると支援員 菊地支援員，成田支援員</p> <p>事務局等</p> <p>地域まちづくり課 成田課長，谷口補佐，浅沼</p> <p>中央公民館 伊藤館長</p>
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 中央・新旭川まちづくり推進協議会委員名簿（令和4年9月30日現在）
	資料2 中央・新旭川まちづくり推進プログラム
	資料3 中央・新旭川まちづくり推進プログラム「市への要望・地域からの提案」に対する市の考え方
	資料4 まちづくり推進プログラムの改訂に向けた確認の視点
	参考資料 地域まちづくり体制の見直しについて

（補足）「中央・新旭川まちづくり推進協議会」を以下「協議会」という。

議事の内容

1 開会

事務局から、感染対策を講じて協議会を開催する旨説明があった。

また、資料1のとおり、新たに高橋委員が参加する旨報告があった。

2 地域まちづくり体制の見直しについて

事務局から、参考資料のとおり説明があり、その後、意見交換を行った。

主な意見は、次のとおり。

- ・中央・新旭川地域は、5つの地区市民委員会が関わる大きな範囲である。地区ごとに特性が異なるので、一つにまとめるのはなかなか大変ではないか。
- ・協議会がどの方向へ向かうのかという話だと思うが、様々な団体が集まる中で意見を出し、決めていくということは大変ではないか。
- ・どんなジャンルに関わる取組を中心に進めるのかを決めなければ、話題が多岐にわたっておりまとまらない。皆さんの意見も出てこないのではないか。
- ・コロナ禍でなかなか活動できていないが、どうやって新たな担い手を育成するかというのがポイント。町内会に対する意識の変化、役員を含めて高齢化が進み、担い手が減る中、協議会でもどのようにアプローチしていけば良いのか、議論していければと思う。
- ・町内会に加入していなければ、自分の地域でどのような活動をしているのか、知る機会がないと思う。
- ・担い手を若返らせるためには、企業へアプローチしてはどうか。今は共働きが多く、仕事をしている間は地域活動はなかなか難しいと思うので、企業の協力を求めるべきではないか。
- ・町内会の廃品回収で回収量が減ってきているが、町内会に加入していない人には回覧板が回らず情報が届かないので協力してもらえない。若いの方がアルミ缶、段ボールなどを出す量が多く、できれば一緒に協力してもらえよう、情報を届けられるようにしたい。
- ・年に一度のお祭りなどで、子どもを連れた若い人が参加することがあるが、そこにどのようにつながったら良いかいつも思う。

最後に事務局から、その他に意見があれば、別途事務局へ連絡するよう依頼があった。

3 中央・新旭川地域のまちづくりの検討と推進について

(1) 中央・新旭川地域の取組について

事務局から、資料2の掲載内容について説明を受け、地域活動の実施状況について、関係委員から次のとおり報告があった。

- ・地域居場所づくり推進委員会では、4月10日にまちづくりフォーラム in 新旭川を実施し、地域課題に関するアンケート調査を行った。抽出した課題の中から、担い手、ボランティアとして活動する人を増やすことが必要であり、今年度はボランティア講座の開催に向けて準備を進めている。
- ・旭新お助け隊では、5年前に町内でアンケートを実施し、20名ほどのボランティアの参加があった。除雪支援は年に2~3回あり、若い人を中心に日曜日に実施。買い物支援は週に3回。コロナ禍でそれ以上は行っていないが、来年度は少し活動を進めていきたい。
- ・新旭川地区子ども見守り活動では、令和2年から毎月1回実施しており、正和小、新富小、東五条小で登校時の見守り活動を実施している。現在63名が参加して、16箇所に分かれて子どもたちの見守りを行っており、これからも長くこの運動を続けていきたいと考えている。
- ・知新つ子を見守る会では、毎月1日に、知新小で登校時の見守り活動を実施している。また、入学式と夏期、冬期休業の始まりにも活動している。今年度は、9月頃に児童へのつきまとい事案が発生したため、学校からの連絡で急遽、数日間見守り活動を実施することがあり、この時は警察も一緒に見守り活動を行った。

(2) 中央・新旭川まちづくり推進プログラムの改訂について

事務局から、引き続き資料2に基づき説明を受け、修正すべき点があれば、後日、事務局へ連絡するよう依頼があった。

4 その他

(1) 合同研修会の開催予定について

事務局から、令和5年2月10日に合同研修会を開催することとなり、内容は、上士幌町で実践されている地域まちづくりの事例紹介と旭川で検討しているデジタル回覧板の紹介を予定している旨連絡があった。

(2) 次回の協議会について

次回の協議会は、あらためて日程を案内することとなった。

5 閉会